

損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科目	小計	合計	事業区分		
			一般事業		
			指導	販売	森林整備
I 事業総損益					
1 収益	204,224,838		3,302,828	5,076,261	195,845,749
2 費用	93,158,371		376,725	119,757	92,661,889
事業総利益		111,066,467	2,926,103	4,956,504	103,183,860
II 事業管理費					
1 人件費	52,848,223		4,800,000	2,394,000	45,654,223
2 旅費・交通費	98,860		9,000	8,000	81,860
3 事務費	3,576,491		340,000	170,000	3,066,491
4 業務費	2,709,605		1,266,000	68,000	1,375,605
5 諸税負担金	14,309,780		1,035,000	905,000	12,369,780
6 施設費	5,846,212		433,000	379,000	5,034,212
7 雑費	655,408		47,000	47,000	561,408
事業管理費計		80,044,579	7,930,000	3,971,000	68,143,579
事業利益(損失)		31,021,888	△5,003,897	985,504	35,040,281
III 事業外損益					
1 事業外収益	201,135				
2 事業外費用	147,135				
事業外損益		54,000			
経常利益(損失)		31,075,888			
IV 特別損益					
1 特別収益	0				
2 特別損失	16,132				
特別損益		△16,132			
税引前当期純利益		31,059,756			
法人税、住民税及び事業税額		7,356,100			
当期剰余金		23,703,656			
前期繰越剰余金		17,168,141			
当期末処分剰余金		40,871,797			

IV 令和3年度 剰余金処分案

(単位：円)

科 目	積算内訳	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金				40,871,797
II 剰余金処分額				22,363,651
1 法定準備金	当期剰余金の 10分の2以上		4,800,000	
2 任意積立金			14,000,000	
①林業機械・施設整備積立金		10,000,000		
②林業機械等施設維持管理積立金		4,000,000		
3 出資配当金	出資金総額の 7%以内		3,563,651	
III 次期繰越剰余金				18,508,146

注 1 任意積立金

① 林業機械・施設整備積立金

積立目標額 1億円

目的：林業機械等の導入及び土場等の整備・拡張等

② 林業機械等施設維持管理積立金

積立目標額 3千万円

目的：林業機械等の維持管理

2 出資配当は7%とする。

3 次期繰越剰余金のうち、組合員に対する教育情報資金は500,000円である。

V 注 記 表

区 分	注記事項								
1 重要な会計方針に関する事項	<p>(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 評価は最終仕入原価法により行っています。</p> <p>(2) 固定資産の減価償却の方法 有形固定資産については、定率法を採用し、税法基準の償却率により償却しています。</p> <p>(3) 引当金の計上方法 ①貸倒引当金は、資産査定要領と資産の償却引当基準に基づく額を計上しています。 ②退職給付引当金は職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務の見込に基づき、計上しています。</p> <p>(4) 消費税及び地方消費税の会計処理 会計処理は税込み方式により処理しています。</p> <p>(5) 計算関係書類及び附属明細書に記載した金額 貸借対照表、損益計算書及び附属明細書に記載した金額は円単位で記載しています。</p>								
2 貸借対照表に関する注記	<p>(1) 資産に係る減価償却累計額は各資産項目別の引当金の金額 減価償却累計額は附属明細書、有形固定資産及び無形固定資産の明細のとおり。</p> <p>(2) 貸借対照表に計上した固定資産のほか財務管理システムについては、リース契約により使用しています。</p> <p>(3) 固定資産の圧縮記帳にかかる金額は次のとおりです。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">665,000 円</td> </tr> <tr> <td>車両運搬具</td> <td style="text-align: right;">6,990,000 円</td> </tr> <tr> <td>機械装置</td> <td style="text-align: right;">68,537,000 円</td> </tr> <tr> <td>工器具備品</td> <td style="text-align: right;">703,000 円</td> </tr> </table>	建物	665,000 円	車両運搬具	6,990,000 円	機械装置	68,537,000 円	工器具備品	703,000 円
建物	665,000 円								
車両運搬具	6,990,000 円								
機械装置	68,537,000 円								
工器具備品	703,000 円								
3 損益計算書に関する注記	<p>(1) 事業管理費の事業区分は、事務局職員が各部門に携わる割合で計上しています。</p>								
4 退職給付に関する注記	<p>(1) 採用している制度の概要 職員退職給付規程に基づき、退職一時金制度を採用しています。 退職給付債務、退職給付費用の計上に当たっては、職員 300 人未満小規模企業等に該当するため「退職給付会計に関する実務指針（中間報告）」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第 13 号平成 11 年 9 月 14 日）により簡便法を採用しています。</p> <p>ア、退職給付債務の内訳</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>退職給付債務</td> <td style="text-align: right;">10,691,372 円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">10,691,372 円</td> </tr> </table> <p>イ、退職給付費用の内訳</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>勤務債務</td> <td style="text-align: right;">909,125 円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用合計</td> <td style="text-align: right;">909,125 円</td> </tr> </table>	退職給付債務	10,691,372 円	退職給付引当金	10,691,372 円	勤務債務	909,125 円	退職給付費用合計	909,125 円
退職給付債務	10,691,372 円								
退職給付引当金	10,691,372 円								
勤務債務	909,125 円								
退職給付費用合計	909,125 円								